

# 平成17年度

## 歳入 81億6818万円

# 決

# 算

その他依存財源 5億4076万円

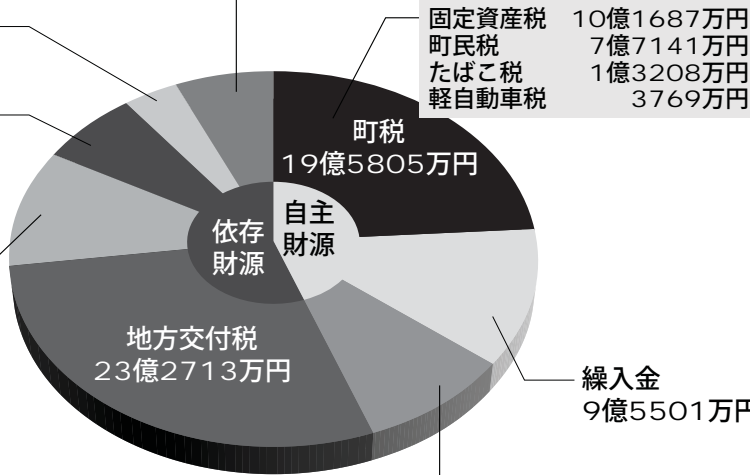
地方消費税交付金	1億5530万円
地方特例交付金	6727万円
自動車取得税交付金	5168万円
利子割交付金	1356万円
交通安全対策特別交付金	316万円

地方譲与税	1億6100万円
ゴルフ場利用交付金	6518万円
株式等譲渡所得割交付金	1360万円
配当割交付金	1001万円

県支出金  
3億104万円

国庫支出金  
5億4115万円

町債  
8億3210万円



固定資産税	10億1687万円
町民税	7億7141万円
たばこ税	1億3208万円
軽自動車税	3769万円

その他自主財源 7億1294万円

使用料・手数料	1億8550万円
分担金・負担金	1億3549万円
財産収入	1億1918万円
寄付金	77万円

諸収入	1億6321万円
繰越金	1億 879万円

### 用語の説明(歳入)

- 町税** 町民のみなさんや町内の事業所に納めていただいた税金
- 繰入金** 基金(町が蓄えている貯金)を取り崩したお金
- 地方交付税** 町の面積や人口など自治体の規模に応じて国から配分されたお金
- 町債** 大きな事業を行うために町が国などから借り入れたお金
- 国庫支出金・県支出金** 特定の事業の財源として国・県から交付されたお金

### 一般会計決算の概要

決算とは、みなさんの納めていただいた税金がどれだけあつて、どのように使ったのかをまとめた町の家計簿であり実績報告です。

本町の会計は、一般会計と7つの特別会計に分かれています。平成17年度の一般会計と特別会計を合算すると、歳入139億7989万円、歳出137億723万円となりました。

このうち、一般会計は歳入が81億6818万円、歳出が79億3210万円となり、歳入から歳出を差し引くと2億3609万円の黒字となりました。

この2億3609万円のうち、1億6818万円は平成18年度に引き続いて実施する事業の費用として必要となり、実質的な収支は7441万円の黒字となりました。

### 歳入の状況

町には、どのようなお金が入ってきたのか見てみましょう。

#### 自主財源

自主財源(町税など本町が徴収した収入)の合計は36億2600万円、歳入の約44%を占め、このうち町民税や固定資産税などの町税が19億5805万円、歳入の約24%を占めています。

このうち町民税は7億7141万円、個人と法人とに区分すると、個人が6億1226万円、法人が1億5915万円となりました。また、固定資産税は10億1687万円となりました。

繰入金(基金)の9億5501万円は、基金(町が蓄えている貯金)を取り崩した額であり、歳入の約12%を占めています。平成17年度末での基金残高は55億7600万円となり、平成16年度末と比較すると8億804万円の減少となりました。

#### 依存財源

依存財源(国や県が徴収して本町に分配された財源)の合計は45億4218万円、歳入の約56%を占めています。

このうち地方交付税(人口などに応じて交付される財源)は23億2713万円、歳入の約29%を占めています。

また、町債(町の借金)は、8億3210万円、歳入の約10%を占めています。

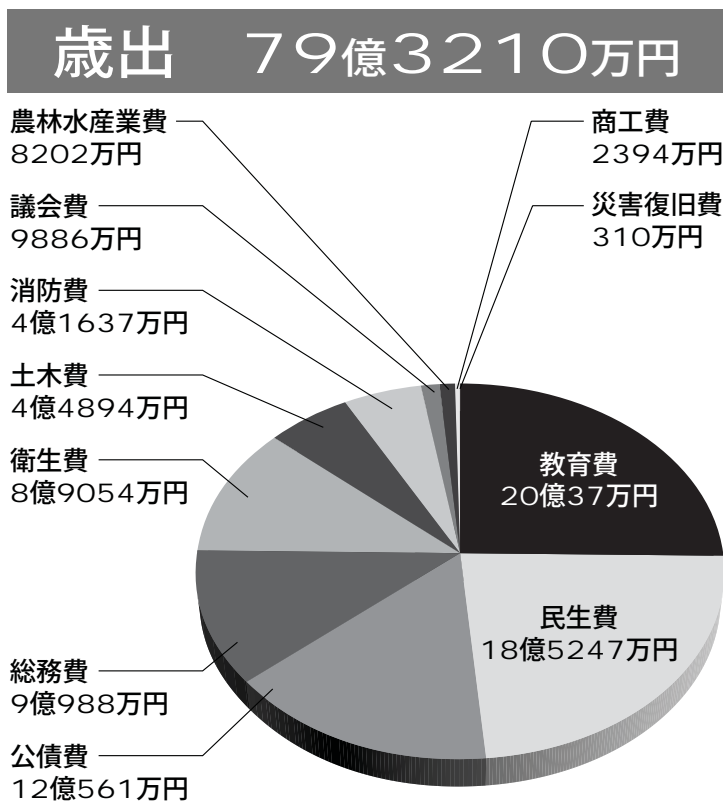
## — 性質別内訳 —

町の歳出を、人件費、扶助費、物件費などのお金の使い方に応じて区分しています。

区 分	決 算 額
義務的経費	33億6935万円
人 件 費	15億4615万円
扶 助 費	6億1759万円
公 債 費	12億 561万円
投資的経費	15億 23万円
普通建設事業費	15億 23万円
その他の経費	30億6252万円
物 件 費	9億9234万円
繰 出 金	7億1890万円
補 助 費 等	12億3475万円
そ の 他	1億1653万円
合 計	79億3210万円

## — 目的別内訳 —

町の歳出を、教育費、民生費、土木費、衛生費など目的に応じて区分しています。



### 歳出の状況

町はどのように税金などを使ったのかを、使い方に応じて見てみましょう。

#### 扶助費

扶助費は、児童手当など法令に基づき支給されるもののほか医療費や心身障がい者支援事業の公費負担なども含まれます。

① 身体障がい者および知的障がい者支援事業 1億8237万円

② 児童手当 9177万円

③ 私立保育所、町外保育所措置費 9111万円

④ 乳児医療費、母子医療費、老人医療費 6564万円

#### 公債費

公債費は、国や金融機関などから借りたお金の返済金とその利息の支払いです。平成17年度末借入残額は78億4078万円となりました。

#### 普通建設事業費

普通建設事業費は、道路や学校など公共施設の整備のための費用です。

① 大淀緑ヶ丘小学校施設整備工事(第2期工事) 9億8121万円

② 大淀桜ヶ丘小学校施設整備工事(第1期工事) 1億4862万円

③ 中部21号線道路整備(緑橋)および西部98号線道路整備(大淀中学校前) 8462万円

④ 東部地区小学校統合整備 3853万円

⑤ 道路改良及び町内全域道路舗装工事 3660万円

⑥ 合併浄化槽整備事業 3574万円

⑦ 防火水槽整備工事 2435万円

⑧ 緑ヶ丘プレジャーium(児童保育所)整備工事 1997万円

⑨ 桜ヶ丘児童館改修工事 1428万円

繰出金は、特別会計への一般会計の負担分です。

① 下水道事業特別会計 2億4000万円

② 介護保険特別会計 1億6253万円

③ 老人保健特別会計 1億3577万円

④ 国民健康保険事業特別会計 1億3000万円

補助費等は、ごみ処理施設などの一部事務組合に対する負担金および町内の各種団体に補助するための費用などです。

① 南和広域衛生組合負担金 3億4668万円

② 中吉野広域消防組合負担金 3億3951万円

③ 社会福祉協議会負担金 2億8820万円

④ 大淀病院事業会計負担金 1億7625万円

※ 歳出の主な事業を性質別に掲載しました。

# 平成17年度

# 決

# 算

特別会計  
水道事業会計  
病院事業会計



平成17年度 特別会計	
住宅改修資金等貸付金特別会計	歳入 1億1512万円 歳出 1億1426万円 差引残高86万円は、翌年度繰越金となります。
国民健康保険事業特別会計	歳入 17億3236万円 歳出 17億972万円 差引残高2264万円のうち財政調整基金へ1164万円を繰り入れたため、翌年度繰越金は1100万円となります。
老人保健特別会計	歳入 18億5790万円 歳出 18億6325万円 不足額535万円は、18年度から繰上充用金で補填しました。
介護保険特別会計	歳入 10億6930万円 歳出 10億6915万円 差引残高15万3千円のうち財政調整基金へ7万7千円を繰り入れたため、翌年度繰越金は7万6千円となります。
公園墓地事業特別会計	歳入 1185万円 歳出 1185万円 差引残高5千円は、翌年度繰越金となります。
下水道事業特別会計	歳入 10億2010万円 歳出 10億200万円 差引残高1810万円は、翌年度の財源として繰り越しています。
建設残土公的処分地維持管理事業特別会計	歳入 508万円 歳出 491万円 差引残高17万円は、翌年度繰越金となります。

水道事業会計	
事業収益 3億2655万円	事業費用 2億8015万円
資本的収入 1億775万円	資本的支出 2億1356万円
平成17年度末では、7892件(量水器取付件数)、2万736人に給水を行っています。	
建設改良事業では、昭和49年から給水区域の拡張に伴い実施してきた第三回施設拡張工事を終了しました。配水施設改良事業では、北野第1・第2加圧施設ポンプ等更新工事、下水道事業に伴う配水管移設工事等を施工しました。	
今後も、おいしい水の安定供給に努めてまいります。	

病院事業会計	
事業収益 29億7437万円	事業費用 30億1494万円
資本的収入 1億2407万円	資本的支出 1億4673万円
当年度の業務状況では、入院患者数5万9891人(1日平均164.1人)、外来患者数15万8170人(1日平均583.7人)となりました。	
病院経営は厳しい状況が続くなか、経営改善計画に基づき事業運営に取り組んでいます。	
今後とも、自治体病院としての役割を担い、地域医療の充実と医療サービスの向上に努めてまいります。	